

【評価実施概要】

事業所番号	第0170201388		
法人名	医療法人社団 三草会		
事業所名	グループホームもえれのお家屯田 みやげ館・よしお館		
所在地	〒002-0857 札幌市北区屯田7条5丁目2-20 (電話) 011-775-7003		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	2008年5月27日	評価確定日	2008年7月1日

【情報提供票より】(2008年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 7 月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 1.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階	建ての1~2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 ~ 40,000円	その他の経費(月額)	光熱水費 20,000 円
敷 金	有() 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,400 円		

(4) 利用者の概要 (2008年5月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護 1	2	要介護 2	3		
要介護 3	6	要介護 4	5		
要介護 5	2	要支援 2	0		
年齢	平均 85.5 歳	最低	77 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団三草会クラーク病院 新琴似内科クリニック
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅街に位置しており、落ち着いた環境にある。クリーム色の2階建ての建物は、グループホームとして理想的な設計を行い、建築されている。建物横には菜園があり、1階にデイサービスを併設している。運営母体が医療法人であることから、多数の介護、医療関連施設との連携や協力が期待でき、職員研修体制も整っている。職員のチームワークは良く、サービス向上に日々研鑽を努めている。利用者の表情には安心感があり、家族の信頼は厚い。一人ひとりの尊厳を大切にして、「ゆっくり、楽しく、生活を共に」の理念のもとに、質の高いケアを行っているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回課題となっていた職員の研修実施の際の記録と全職員への閲覧については、以前より実行されていたが、更に整備していくように取り組んでいる。利用者間のトラブルについての対応については改善されている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	職員全員が自己評価に取り組み、内容を検討し、職員の意識向上、ケアの見直しに活かした取り組みが行われている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議は2カ月に1度開催され、会議記録が整備されている。ホームの運営内容、地域との役割、災害時協力について協議され、家族の希望により後期高齢者医療制度についても研修する等、活発な内容となっている。地域の人々との避難訓練実施について話し合われる等、討議内容を活かした取り組みがなされている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	家族会が設立されており、年2回開催され、ほぼ全員の家族の参加があり、親睦と意見交換がなされている。家族会での内容は記録され、そこでの意見は全職員に周知され、速やかに対応されている。公的苦情相談機関の案内やホーム内に意見箱の設置を行い、家族の意見が運営に反映されるように取り組んでいる。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に入会し、行事(祭り・ゴミ拾い)に参加している。近隣小学校への行事参加も行っている。事業所の「ホームたより」を町内会に回覧してホームへの理解を深めるようにしており、事業所の空きスペースを町内会や地域の人々に開放するなど、連携に努めている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの尊厳を保ち、健康で自立した、その人らしい生活ができるように、家族・地域社会との関わりを大切にしたい理念を作り実践にむけて取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、スタッフルームに理念を掲示し朝礼やカンファレンス時に全職員が確認し共有して取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、行事(お祭り・ゴミ拾い)に参加している。「ホーム便り」を町内会に回覧し、事業所のスペースを町内会や地域の人々に開放する案内を行っている。近隣小学校への行事参加も行い、地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、新人職員には勉強会を通して説明している。評価はいつでも見れる場所に置いてあり、毎月のカンファレンスや勉強会を通して確認し、改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、定期的開催されており、ホームの運営内容の報告、避難訓練等についての話し合いがなされている。又家族の要望による、後期高齢者医療制度の説明研修が行われる等、会議での意見や検討事項を踏まえてホームのサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者と必要に応じて連絡を取っており、事業所の実情やケアサービスの取り組み状況を報告している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族来訪時には、近況報告をし、定期的に「たより」を発行し、暮らしぶりや人事異動を知らせている。体調不良時や受診後の報告は電話やFAXで直ちに報告し、金銭関係については、レシートを毎月郵送し、出納帳は来訪時確認してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会が設立されており、家族会で提出された意見には速やかに対応し、職員全員が把握するように努めており、それらを運営に反映させている。苦情窓口機関の明示、意見箱の設置を行い、家族来所時にはできるだけ意見を伺うように努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は必要最小限度に抑えており、各ユニットで職員を固定し、馴染みの職員が対応できるように利用者に配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人での研修の年間計画に沿ってケアプラン勉強会、事例発表等の内部研修を行っており、月1回の勉強会を開催している。経験年数に合わせて、外部研修を受けるように積極的に進めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同法人関連のグループホームが数カ所あることから、事業所同士で交流・研修を行うことができる。管理者会議や外部研修に於いても、情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。事業所の外部者見学のマニュアルを作成しておくことを予定している。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族と事前に時間をかけて話し合い、併設のデイサービスの利用、お泊りサービスを経て入居と、段階的に馴染めるようにして安心してサービスを受けられるように支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と入居者は喜びや悲しみ等の思いを共有し、共に過ごしており、調理、洗濯、裁縫、畑仕事等、一人ひとりの得意なことを活かして、互いに支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は一人ひとりの思いや希望を本人の様子や家族を通じて把握しており、できるだけ意向に添うように努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意見、要望を取り入れ、職員ケアマネージャと十分協議を重ね、心身の状況、生活能力を考慮し、本人・家族の意向を確認したうえで介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な介護計画の見直しを行うと共に、毎月全職員参加のカンファレンスを行い、その都度一人ひとりの変化に合わせての介護計画の検討を行い、現状に即した計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>当法人経営で同じ建物内にあるデイサービス機能を利用することができる。本人、家族の希望や状況に応じて、通院、送迎など必要な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に内科医の訪問診療があり、日常の健康管理を行っており、緊急時には相談、対応できる体制になっている。本人、家族が希望する他の医療機関についても協力を得ながら、常に適切な医療が受けられるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>早い段階から本人、家族の気持ちや、今後について話し合いをもつように、かかりつけ医とも相談して情報を共有し、方針を決めるように検討している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように言葉かけや対応に注意して支援している。記録等の取り扱いにも慎重である。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの生活リズムを把握し、本人の希望にできるだけ添えるよう、その人らしい生活ができるように配慮して支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好き、嫌いを把握し、嗜好に合わせた食事提供をしている。食材の買い物や調理の下ごしらえ、調理、盛り付け、食器洗い等、職員と一緒にいき、できることを活かしながら食事が楽しめるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は午後の時間帯に行われることが多いが午前中にも、畑作業の後にシャワーを利用したり、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの、やりたい事、できる事等の希望に添って、役割や楽しみごとができるように配慮して支援している。(習字、絵画、生け花、調理の手伝い、洗濯干し、畑作業等)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩、買い物、外でのお茶会などを行っている。一人ひとりの希望に添えるように、他ユニットとも協力して戸外に出かけられるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアを実践している。職員は利用者の事前行動が察知できるように配慮し、予防に様々な工夫を行い、安全で自由な暮らしができるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回地域の消防署の協力の下に避難訓練を行っている。運営推進会議では災害時の地域の人々を含めた協力体制について討議されているが、夜間での避難誘導に不安がある。		夜間災害に備えての対策や、近隣住民の参加、協力が得られるよう、町内会や運営推進会議での検討を期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月体重を測定し、水分摂取量や食事の残食量から栄養摂取や水分確保の確認を行っている。旬の食材を確保しバランスのとれた献立に配慮している。母体施設の栄養士の助言や職員の勉強会も予定しているので期待したい。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花が飾られ、静かに音楽が流れている。利用者の作品や笑顔の写真が壁に掛けられており、温かい家庭的な雰囲気がある。共有空間は全て広く、手入れが行き届いており、車椅子にも配慮している。職員は、温度、湿度、採光、臭気、換気に気を配り、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は全て東南に面しており明るい。収納場所に余裕があることから、全体的にすっきりしている。馴染みの家具や家族写真を飾り、本人の身体状況や好みに合わせて、居心地よく過ごせるように工夫している。		

 は、重点項目。